

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立勤労者総合福祉センター	
(2) 施設の設置目的	
勤労者等の福祉の増進と教養文化の向上を図るとともに、労働組合の健全な発展に資するため	
(3) 所管部局	
産業振興局 産業戦略部 雇用推進課	
(4) 指定管理者名	
日本環境マネジメント株式会社	
(5) 指定期間	
平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">施設の貸館業務(施設管理運営事業)施設の設備保守業務サンスクエア講座、市民交流事業等の自主事業(勤労者福祉事業)	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民全般	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
無	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	<ul style="list-style-type: none"> 多目的ホール等人気の高い施設への予約に関して、申し込み開始日の告知や抽選をSNS等の情報伝達ツールを活用し公平で迅速な方法で行った。 サンスクエアホールで多数の来場者がいることを想定した避難訓練を防災設備保守業務の委託先と合同で行った。 個人情報保護に関する研修を全職員向けに実施し、個人情報が入っているPCは使用时以外は鍵付きのロッカー等に保管し管理した。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	<ul style="list-style-type: none"> 館長1名(施設責任者)、副館長2名(維持管理責任者、事業運営責任者)、運営スタッフ9名を配置し、エリア担当、本社スタッフで常時バックアップ体制をとった。 新たに採用したスタッフは例外なく本社実施の新入社員研修に参加し、公共施設の運営に関する知識、個人情報取扱方法の習得と業務に関する責任を明確化した。 施設の維持管理は年間計画に沿い適切に実施した。
施設の設置目的に沿った事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> 年度事業計画書に概ね沿ったが、ハンゲル講座と必ず身につくビジネスマナー講座は講師の都合や参加人数の問題から開催をすることができなかった。 指定事業は年間で21講座を主催し、トータル1,474名の方に参加いただいた。
その他特筆すべき取組	<ul style="list-style-type: none"> 新たに貸室に加わった施設(A棟ギャラリー、多目的室1・2)の有効な利用方法を考え、利用者数の向上に貢献できた。

イ 市による状況分析

<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営について、令和4年度に引き続き利用者の公平・平等な貸室利用を確保できる体制、方法が取られている。また職員に対して様々な状況を想定した避難訓練など必要な研修を行うことで公共施設の運営業務についての理解を深めており、利用者が使いやすく安心して利用できるよう適正な対応が図られている。 参加者が集まらず中止した講座もあったが、概ね計画に沿った事業実施ができています。 新しい貸室の有効な利用方法と合わせて、利用者へ新貸室の周知についても引き続き実施が必要である。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名	日本環境マネジメント株式会社	日本環境マネジメント株式会社	日本環境マネジメント株式会社	日本環境マネジメント株式会社	日本環境マネジメント株式会社
利用者数(単位:人)	91,237	70,671	144,206	159,717	—
稼働率(単位:%)	31.2	34.4	36.3	36.9	—
利用者満足度(単位:%)	93.8	94.3	93.3	95.7	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進、自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 自主事業では市民のニーズに応じた新たな取組としてハワイアンフェスティバルの開催や、世界の料理教室を開催し多くの方から好評を得られた。 より通信の安定したWi-Fiを導入し、快適にインターネットを利用できる環境を整えた。
意見・苦情・要望等への対応	2023年4月、警備員の態度について、講座のお客から苦情があった。館長が対応し、該当従業員に対して厳重注意、二度と起こさないことを約束し、納得していただいた。
その他特筆すべき取組	<ul style="list-style-type: none"> サンスクエアフェスティバルでは延べ1,117人の参加者があり、地域へのサンスクエア堺の認知度を高め、通常行っている事業の内容を幅広い年代に知ってもらうことができ、今後の運営に良い影響を得ることができた。

ウ 市による状況分析

<ul style="list-style-type: none"> 利用者数、稼働率ともに令和4年度を上回り、利用者ニーズに沿った施設の機能強化、新しい自主事業のイベント開催など利用者増加に向けた取組を積極的に実施している。 利用者からの苦情・要望等については、改善措置を講ずるなど、適切な対応がとられている。 自主事業として新たにハワイアンフェスティバルを開催し、多くの参加者を集め、イベントも好評であった。利用者のニーズを考慮した適切なイベントの企画・開催ができています。
--

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
指定管理者名		日本環境マネジメント株式会社	日本環境マネジメント株式会社	日本環境マネジメント株式会社	日本環境マネジメント株式会社	日本環境マネジメント株式会社
収入	指定管理料	76,869,120	72,314,384	71,604,000	73,008,000	73,008,000
	利用料金	20,268,763	20,236,795	38,847,247	39,775,478	46,438,000
	負担金	1,213,087	3,927,863	1,230,722	137,686	80,000
	その他	5,065,219	12,004,721	1,840,151	2,097,220	3,575,000
	合計	103,416,189	108,483,763	113,522,120	115,018,384	123,101,000
支出	人件費	24,305,502	23,675,954	24,749,226	24,845,168	28,210,000
	委託料	52,689,788	43,293,171	54,168,816	53,618,838	57,381,000
	総支出額に占める委託料の割合	49.8%	45.8%	47.7%	48.5%	46.6%
	修繕費	2,234,254	1,138,780	1,651,140	2,906,530	2,200,000
	光熱水費	13,690,037	13,148,965	18,287,982	14,784,025	17,714,000
	その他	12,868,123	13,354,191	14,728,623	14,426,855	17,596,000
	合計	105,787,704	94,611,061	113,585,787	110,581,416	123,101,000
収支差額		-2,371,515	13,872,702	-63,667	4,436,968	0
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
収入		4,210,449	3,242,198	7,890,611	8,957,575	7,113,000
支出		6,252,860	7,582,540	14,093,972	15,336,989	7,113,000
収支差額		-2,042,411	-4,340,342	-6,203,361	-6,379,414	0
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務等	物価や賃金の上昇などのコントロールが難しい支出は増加したが、節電等による光熱費抑制の意識付けや、不要不急な消耗品の購入などの管理をスタッフ内で徹底したことにより、令和4年度比で支出を2.6%削減することができた。 (負担金収入に堺市光熱費高騰に伴う指定管理者管理運営継続支援金63,000円を含む。)
-------------	---

ウ 市による状況分析

・利用料金収入が令和4年度より増加しているが、計画当初の利用料金収入目標は達成できなかった。しかし、経費の縮減について節電等による光熱費抑制の意識付けや、不要不急な消耗品の購入などを行い積極的に取り組むことで、収支差額がプラスになっている。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
苦情発生件数	年間発生件数0件	年間発生件数1件
労働福祉に係る講演会、講習会等の開催件数及び市民の雇用の安定に寄与する事業の開催件数	年間20件以上、のべ参加者数2,500人以上	年間21件、のべ参加者数1,474人

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
利用者満足度	利用者満足度85%以上	利用者満足度95.8%
利用者数	利用者数16万人以上	利用者数 159,717人
施設稼働率	施設稼働率45%以上	施設稼働率36.9%

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入額	40,000千円以上/年	39,775千円

イ 市による状況分析

・苦情発生件数については、駐輪に関する利用者への注意の仕方についてであり、館長自ら警備員に指導と、利用者の方へのお詫び等を行い、再発防止に努めている。令和4年度に続き利用者満足度は目標を上回って達成しており、利用者に寄り添った対応やサービスの実施によるものと考えられる。

・他の項目については目標未達成な項目もあるが、令和4年度よりも実績が増加しており、今後も引き続き利用者数・施設稼働率増加に向けて適切に施設の管理運営を行いながら状況に応じて効果的な事業実施に努める必要がある。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	利用者満足度は令和4年度から引き続き目標を大きく上回ることができ、新しい自主事業などの取組と安定したサービスにより既存利用者の確保を達成できたが、利用者数と利用料金収入は目標未達となった。また、稼働率は令和4年度比では微増となったものの目標値へは未達となった。	・利用者数や施設稼働率の目標は未達成となったが、地域の方や利用者の意見を反映し、施設の機能強化や新しいイベントの開催などによって、利用件数と利用者数は令和4年度を上回っており、目標達成のために積極的に取り組んでいる。 ・また、利用者のニーズに対応したサービスの実施により、利用者満足度については目標達成することができた。
今後の取組	全体の施設稼働率を向上するため利用率の低い施設の有効活用をソフト、ハード面で再考する。幅広い年代の方からの様々なニーズを捉え利用者数を増加させ、全体の稼働率を向上する。	・引き続き利用者のニーズを踏まえた事業を実施し、施設利用の少ない年齢層に向けて広報を行い、利用者数や施設稼働率の目標達成に向けて取り組んでほしい。 ・併せて、令和5年度から設置された新貸室についても、認知度向上を図り、積極的な利活用を期待する。 ・そして令和6年度から2期目に入るため、1期目よりもさらに利用者満足度の向上や、利用者数の増加、利用料金の増収に取り組んでほしい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの